

平成23年産米の相対取引価格(出荷業者)(速報)
(平成23年10月)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	23年10月 ①	参考			
				23年9月 ②	対前月比 ①/②	22年10月 ③	対前年比 ①/③
北海道	きらら397		13,773	13,730	100%	11,826	116%
北海道	なつぼし		13,924	13,823	101%	11,723	119%
青森	つがるロマン		13,680	13,329	103%	11,469	119%
青森	まっしぐら		13,417	13,221	101%	11,220	120%
岩手	ひとめぼれ		14,150	14,235	99%	12,105	117%
岩手	あきたこまち		14,296	-	-	11,556	124%
宮城	ひとめぼれ		14,821	14,850	100%	12,137	122%
宮城	ササニシキ		14,733	-	-	12,245	120%
秋田	あきたこまち		15,384	15,396	100%	12,614	122%
山形	はえぬき		14,524	14,698	99%	11,866	122%
福島	コシヒカリ	中通り	14,759	-	-	12,117	122%
福島	コシヒカリ	会津	16,153	-	-	13,492	120%
福島	ひとめぼれ		13,932	13,309	105%	10,781	129%
茨城	コシヒカリ		15,727	15,727	100%	12,984	121%
栃木	コシヒカリ		15,712	15,604	101%	12,804	123%
埼玉	彩のかがやき		14,155	-	-	-	-
千葉	コシヒカリ		15,143	15,642	97%	12,451	122%
長野	コシヒカリ		15,929	15,921	100%	14,067	113%
新潟	コシヒカリ	一般	17,897	17,952	100%	15,363	116%

産地	品種銘柄	地域区分	23年10月 ①	参考			
				23年9月 ②	対前月比 ①/②	22年10月 ③	対前年比 ①/③
新潟	コシヒカリ	魚沼	22,741	22,704	100%	21,675	105%
新潟	コシヒカリ	佐渡	18,341	18,263	100%	15,648	117%
富山	コシヒカリ		16,093	16,124	100%	13,755	117%
石川	コシヒカリ		16,290	16,025	102%	-	-
福井	コシヒカリ		16,047	16,047	100%	13,106	122%
福井	ハナエチゼン		14,655	14,659	100%	12,078	121%
岐阜	コシヒカリ		15,548	15,678	99%	-	-
三重	コシヒカリ	一般	15,938	15,929	100%	-	-
三重	コシヒカリ	伊賀	16,346	16,372	100%	-	-
滋賀	コシヒカリ		15,853	15,882	100%	13,261	120%
滋賀	キヌヒカリ		15,154	15,148	100%	12,342	123%
兵庫	コシヒカリ		15,740	15,821	99%	13,565	116%
岡山	アケボノ		13,801	-	-	-	-
広島	コシヒカリ		15,007	15,019	100%	12,566	119%
山口	コシヒカリ		14,580	14,664	99%	12,774	114%
愛媛	コシヒカリ		14,725	-	-	-	-
福岡	ヒノヒカリ		14,631	-	-	-	-
佐賀	夢しずく		14,659	14,980	98%	-	-
全銘柄平均価格			15,154	15,196	100%	12,781	119%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、長野、静岡(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、ア 22年産の公表対象産地品種銘柄が存在した道府県における当該産地品種銘柄、又は、イ ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1品種銘柄、のうち、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)22年10月は22年産の価格である。